

あゆみ 第十二号 目次

第一部 (一般作文)

善峰寺と僕	三年	本田圭一	1
暗闇の中で	一年	浜田由美子	2
沖繩	二年	島田典子	4
私は地方記者	三年	赤井俊道	6
転校	一年	伊藤敏之	8
大阪まで	一年	萩原直美	9
北海道の旅	二年	土井元治	10
知床旅情	一年	小島智	13
中央アルプス・信州を尋ねて	一年	中井澄子	14
帰郷	三年	阿世知敏子	15
林間学舎での経験	一年	川辺淑美	18
キャンブ	一年	植村智彦	19
祖母の思い出	二年	柴田美子	21
おばさんの死によせて	一年	小浜初子	22
死について (1)	一年	若林昌子	23
死について (2)	一年	児玉尚美	24
愛犬「チョコ」をしのんで	二年	高屋栄子	25
手さぐりの季節	三年	伊藤久子	27
雨宿り	一年	栗村純子	29
散策	二年	田中智子	30
雨のうた	一年	八木保子	31
夏の終りに	三年	川見純子	31
うす紫のりんどうに	二年	坂田由美	33
不思議な魅力―体操―	二年	川井久子	34
卓球をして	三年	奥田博文	35
心の変化	一年	津田知子	36
明日への叫び	二年	大村邦子	38
無題	三年	稲岡正信	38
雑文	二年	森田洋子	39
夜明け・朝日・涙	三年	栗井博文	41
「日本は……」	一年	黒田智子	42
思いでの一ページ	一年	井上美智子	43
ろすとじえねいしょん	三年	関田正和	44
「秋 桜」	三年	池田宗弘	45
暗やみから未来へ	二年	田尻宗弘	47
随想 三編	三年	中谷彰	47
人の心	一年	井上朋子	50
都会と田舎	二年	梅田育代	51
地下街・カンパ・?	三年	島崎洋	52
クリの思い出	二年	永田勢津子	53
若い歌舞伎	一年	富士野りか	55
「生きる」ことの発見	一年	中島幸彦	56
生きることに少しばかり考える	三年	重坂妙美	58

第二部 (読後感想文)

「蜻蛉日記」をとおして	三年	山西久美子	61
春の鳥	一年	吉川喜久子	62
破戒	二年	織田圭子	63
「花埋み」を読んで	一年	北村久美枝	65
「山月記」を読んで	二年	大塚昌子	65
太宰治「斜陽」を読んで	三年	菅野美智子	66
「人間失格」に思う事	一年	辻本和代	69
二十歳の原点	二年	奥村紀代子	70
「笛吹川」を読んで	三年	瀧田博子	71
「真実一路」を読み終えて	一年	北本淳子	72
「次郎物語」を読んで	二年	黒木純夫	73
芋粥	一年	山内厚子	75
「鼻」を読んで	一年	駒井栄子	76
「隊長ブーリバ」	三年	吉田信弘	77
「ナタリーの朝」	一年	山陰秀子	78
貧しき人々	二年	高城俊峰	79
狭き門	一年	萬木美恵子	80
「女の一生」―ささやかな真実―	三年	宮崎真佐子	81